

【学校の教育目標】

心豊かで たくましい 七郷の子

進んで学ぶ子 助け合う子 きたえる子

【めざす学校像】

子どもも教職員も 今日が楽しく また明日も来たい学校

みんなが安心して生活できる環境づくり

- 小さな変化、SOSを見逃さず、「チーム学校」で対応
 - ・「チーム担任制」「教科担任制」を本格的に導入し、複数で評価、支援
 - ・「ここタン」、「心のアンケート」等を活用し、子どもの心のSOSを見逃さない
 - ・小さな変化、SOSに気付いたら、教師や養護教諭、SC、SSW、エール、子相等が連携し、組織的対応、最適な支援につなげる
 - 「いじめのない学校づくりに取り組んでいることが感じられる」
(R5：A32%、B45%、C4%、D2%、E17%)
 - 「子どもは困ったときに相談できる教員がいると思っている」
(R5：A36%、B41%、C10%、D5%、E8%)
- 子どもが主体的に参画するルールづくり等の推進
- みんなが心地よい空間の中で学習・生活できる環境づくり
 - 「子どもが活動しやすいように環境が整備されていますか」
(R5：A33%、B48%、C5%、D1%、E13%)

みんなが楽しく学びたいと思える授業づくり

- それぞれのよさや持ち味を生かし、みんなが活躍できる機会や出番がある授業づくり
 - ・「学び合い」活動の充実
 - ・協働的な学びを支える「ロイロノート」の活用
 - ・個別最適な学びを支える「スタディサプリ」の活用
- 体験的で探究的な学習の重視
 - ・「児童自らが課題を設定し、探究を通して、自分の考えや課題を更新する学びの連続」を生み出す指導の充実
 - ・「ぎふMIRAI's」のカリキュラムの見直し、改善
 - ・地域と密接に関わりながら学ぶ学習活動の創造
 - 「子どもは授業が楽しく、分かりやすいと言っている」
(R5：A26%、B48%、C15%、D5%、E6%)

*「学校の姿アンケート」

A：あてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない
D：あてはまらない E：よく分からない

働き方改革の推進・学校教育のアップデート

- 限られた時間で最大限の効果 「子どもにとって本当に必要か」という観点から教育課程の見直し（活動、日課、行事等）、地域人材等の活用
- 主体的に学び続ける教師 子どもたちの学び（授業観・学習観）の転換とともに教師自身の学び（研修観）を転換し、子ども達のロールモデルに